

インドシナ革命の圧倒的前進を支援しよう!

すべての職場拠点で大衆集会をもち、日米政府の反革命を糾弾せよ

全大阪の青年労働者のみなさん
 ニクソン米大統領は、カンボジア侵攻にあたって、4月30日、演説した。「バトナムにいる米兵を守り、引続き米軍の撤退とバトナム化計画の成功を保証するために、私は行動の時がきたと結論した。」「ホワイトハウスからの演説では、米大統領に対する支持を求めるのがしきたりである。」と。

しかし、ニクソンのカンボジア侵攻と北爆再開は、米本国内部からの総反響をうけている。全米学生の徴兵拒否とストライキは、米軍内部の反戦運動とあいまって、世界最強の帝国主義軍隊を崩壊にみちびこうとしている。

すでにインドシナ三國人民首脳会議（北ベトナム政府・南ベトナム臨時革命政府・カンプチア民族統一戦線・ラオス愛国戦線）は、4月25日の共同宣言において、「各国の解放と防衛は、それぞれの国の人民の事業であるとの原則からして、各代表は関係各当事者の希望に従い、また相互尊重の原則に基づいて全力をつくして相互支援を行なうことを誓う。」ことを明らかにし、全世界人民が「インドシナ三國人民の正義の斗争を最後の勝利までますます支持するよう訴える。」と述べている。

「米國が二級の國家になり、誇り高い百九十年の歴史で初めての敗北をきつする」という犠牲を冒してまで、大統領を二期つとめたいとは思えない。」というニクソンの決意にもかかわらず、アメリカ帝國主義は、インドシナ革命の拡大と前進のまえに決定的な敗北をよぎなくされている。

5月16、17日ジマカルタでひらかれようとしている「アジア会議」は、日本をはじめとするアジア反共國家のインドシナ反革命戦争参加会議として設定されているが、そのような試みは、かえってインドシナ革命の激進をアジア全域に発展させないではおかないであろう。

全大阪の青年労働者のみなさん
 日本の労働者階級は、ベトナム反戦から、カンボジア反戦・ラオス反戦へ斗争目標を拡大させるだけでなく、インドシナ解放戦争支持、日本帝國主義の反革命的介入粉碎、というスローガンをかけ、すべての職場拠点と侵略拠点で、たたかいの烽火をあげようではないか。

- ★ チュー、ロン、ノル、アーマ政権打倒!
- ★ アメリカ帝國主義に全面的敗北を! インドシナ革命の圧倒的勝利を!
- ★ 佐藤政府の「カンボジア侵攻全面支持」を糾弾せよ!
- ★ 「アジア会議」にカンボジア参戦国会議を粉碎せよ!
- ★ 本土・沖縄の米軍基地撤去! 自衛隊の沖縄派兵阻止!
- ★ 「自主防衛体制」粉碎! 反戦自衛隊員の反軍斗争を支援せよ!
- ★ 日米共同声明路線粉碎!
- ★ 反専保6月ゼネスト貫徹へむけ、たたかう大衆的職場拠点を構築せよ!
- ★ 総評・社会党中央の「反戦解体」策動をばねのけ、全大阪反戦の大衆的戦斗的強化をたたかこう!

- ☒ 5・12 春斗勝利・カンボジア侵略抗議府民集会
 (午後6時、扇町公園からデモ。春斗共斗主催、反専保府民共斗隊力)
- ☒ 5・14 北河内・城北青年決起集会
 (午後6時、守口市民会館。小西元三曹・鈴木全国反戦世話人講演)
- ☒ 5・19 反自衛隊・小西三曹支持委員会結成集会
 (午後6時、扇町会館II扇橋交差点北東。小西三曹・弁護団参加)
- ☒ 5・15 カンボジア参戦国会議参加反対府民集会
 (午後5時より、大阪駅前人民広場。反専保府民共斗主催)

5月8日
 社青同大阪地区本部
 (351)7074